

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本ゼット株式会社相模原事業所	階数	地上2F
建設地	神奈川県相模原市緑区大山町1番5号	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	30人
気候区分	地域区分	年間使用時間	2,800時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年3月 竣工	評価の実施日	2013年7月2日
敷地面積	19,835 m <sup>2</sup>	作成者	戸田建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	3,558 m <sup>2</sup>	確認日	2013年7月2日
延床面積	6,074 m <sup>2</sup>	確認者	戸田建設株式会社一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.2</b></p> <p>S: A: B+: B-: C:</p>	<p>標準計算</p> <p>30% 60% 80% 100% 100%超</p> <p>建設 修繕・更新・解体 運用 オンサイト オフサイト</p> <p>参照値 100%</p> <p>建築物の取組み 92%</p> <p>上記+ 以外の 92%</p> <p>上記+ 92%</p> <p>(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b></p> <p>Qのスコア = 2.9</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>Q1のスコア = 2.8</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>Q2のスコア = 3.2</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b></p> <p>Q3のスコア = 2.7</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b></p> <p>LRのスコア = 3.4</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>LR1のスコア = 3.6</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>LR2のスコア = 3.6</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>LR3のスコア = 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>製薬工場とその物流施設から成る建築であり、内部の製造環境・保管環境の維持と防虫対策が重要な機能である。環境設計上は外皮の性能を確保することと省エネルギー重視につながる。</p>		<p><b>その他</b></p> <p>建設工事における廃棄物低減を図り、ゼロエミッションを目指す。</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>F 建材の利用を推進し、増築棟部は禁煙とすることでクリーンな空気質環境の維持に努めた。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>F 外装材や空調配管等の耐用性・メンテナンス性に配慮した計画とした。</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b></p> <p>F 増築棟が接道する西側道路に奥行10m以上の緑地帯を設け景観への配慮を行った。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>F 高効率照明器具の採用など、設備システムの高効率化を図った。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>F 節水コマ、節水型便器を採用し水資源の保護に配慮するとともに、階段滑り止め、再生骨材の路盤材利用、エコセメント、地盤改良用製鋼スラグの採用により省資源化に努めた。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>F 通勤者駐車場とトラックヤードを十分に確保し、駐車場の導入路も幅員6500と余裕を持たせる事で周辺交通への影響を抑える計画とした。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい